



後期学校評価アンケートについて

令和4年度 後期学校評価アンケートにご回答いただき、ありがとうございました。
アンケートの結果をお知らせいたします。

- ◇ 実施 令和5年1月10日から19日（実習等で実施期間が前後している場合があります）
- ◇ 対象者 白河総合支援学校生徒、保護者、教職員
- ◇ 方法 各項目の「適合度」を4段階で回答
「そう思う」「大体そう思う」を「肯定的回答」とし「あまりそう思わない」「そう思わない」を「否定的回答」として百分率で分析
- ◇ 回答率 生徒 97% 保護者 93% 教職員 100%（小数点以下四捨五入）
- ◇ 分析結果
数値については、百分率で表しています。端数の四捨五入や未回答（記入漏れ）の回答があることにより、合計が100%にならないことがあります。どの質問項目も肯定的回答の数値が高く出ています。ここでは、【確かな学力】【豊かな心】【健やかな体】【独自の項目】について、否定的回答が前期と比較して10%以上高めに出たものを中心に分析結果を記します。その他の結果については、あとに掲載していますのでご覧ください。

【確かな学力】

この項目では、生徒が自分の目標を理解し、その目標に向かって学習に向かっているか、また、その達成度について評価できているか・評価を感じているかについて尋ねています。

教職員	前期		後期	
	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答
4 生徒は満足感や達成感を持ち、教科の学習に取り組んでいる	86.1%	13.9%	61.5%	38.5%
6 生徒に働く意欲や働くために必要な姿勢や態度が育ってきている	91.4%	8.6%	81.0%	19.0%

この結果からは、教科の学習の中での目標設定や目標に向かって取り組めているかなど、試行錯誤をしながら取り組んでいることがみてとれます。「短期目標や評価について学校は保護者に適切に伝えている」の項目では、前期より一定の評価をいただいているので、生徒自身にわかりやすく具体的に伝え、より満足感や達成感をもつことができるよう取り組んでいく必要があります。

また、地域協働活動については、以前のコロナ禍よりも活発に活動ができるようになってきました

保護者	前期		後期	
	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答
1 短期目標や評価について、学校は保護者に適切に伝えている	90.6%	9.4%	98.3%	1.7%
2 子どもは目標に向かって学習に取り組んでいる	90.6%	9.4%	83.3%	16.7%
7 子どもには一生懸命になる活動がある	87.1%	12.9%	78.9%	21.1%

生徒	前期		後期	
	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答
2 目標に向かって学習に取り組んでいる	79.2%	20.8%	38.7%	61.3%
3 専門科（地域協働）の授業で「できた」「うれしかった」ことがある	82.3%	17.7%	83.8%	16.2%
4 教科の授業で「できた」「うれしかった」ことがある	79.1%	20.9%	49.8%	50.2%

今後、さらに活動を広げていった際に、何をどのように学んでいくのか、再度明確にしながら取り組んでいく必要があります。

【豊かな心】

この項目では、自己肯定感、自己有用感にかかる内容について尋ねています。

教職員	前期		後期	
項目内容	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答
12 子どもの自己有用感が高まっている	88.9%	11.1%	76.2%	23.8%
18 生徒に自分から積極的に挨拶するよう指導や支援をしている	94.4%	5.6%	66.7%	33.3%
20 生徒に家庭内で決まった役割を担うように促している	88.9%	11.1%	61.5%	38.5%
21 全教職員が学校いじめの防止等基本方針の内容を理解し、組織的対応に努めている	91.7%	8.3%	76.9%	23.1%
22 学校のいじめ不登校対策委員会のメンバーを生徒に紹介している	57.1%	42.9%	30.8%	69.2%
24 保護者や学校運営協議会等に、学校のいじめの防止等基本方針や学校の取組を説明・周知している	83.3%	16.7%	66.7%	33.3%
保護者	前期		後期	
項目内容	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答
11 子どもは自分の得意なことに気づいている	76.5%	23.5%	78.2%	21.8%
13 子どもには「誰かの役に立っている」と実感できる学習が準備されている	81.0%	19.0%	78.2%	21.8%
生徒	前期		後期	
項目内容	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答
自分はだれかの役に立っていると思う	59.2%	40.8%	36.1%	63.9%
先生は、わかりやすく、ていねいな言葉づかいをしてくれる	90.0%	10.0%	100.0%	0.0%
事前・事後学習等で先生は仕事の内容や課題・評価等を教えてくれる	93.1%	6.9%	100.0%	0.0%
学校のきまりや約束を守っている	89.8%	10.2%	100.0%	0.0%
家庭で決まった役割(例えば、お手伝い)があり、実行している	79.2%	20.8%	100.0%	0.0%

【健やかな体】

この項目では、健康に関することについて質問しています。

教職員	前期		後期	
項目内容	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答
26 生徒に衛生に関する指導や支援を行なっている	97.2%	2.8%	76.9%	23.1%
27 休日等に実施されている各種スポーツ、文化的催しに参加するように生徒に促している	88.6%	11.4%	61.5%	38.5%

生に関する事柄が日常的になり、とりたてて行なう機会を少なく感じているのかもしれません。衛生面に関する指導は大切な事柄です。今後、落ち着いても大切に扱うべきことだと考えています。

【独自の項目】

この項目では、企業との連携・地域との協働や情報機器の使い方(SNS等)についてなど、本校独自の質問をしています。

教職員	前期		後期	
項目内容	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答
31 保護者に参観・懇談・学習会等に積極的に参加するように促している	86.1%	13.9%	76.9%	23.1%
32 情報モラルについての指導を積極的に行なっている	86.1%	13.9%	76.9%	23.1%
保護者	前期		後期	
項目内容	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答
31 保護者として、参観・懇談・学習会などに積極的に参加している	58.5%	41.5%	47.3%	52.7%
33 子どもはルールやマナーを守って情報機器やSNSを使用している	91.5%	8.5%	81.8%	18.2%
生徒	前期		後期	
項目内容	肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答
32 情報機器(スマートフォンやタブレット)の使い方のルールを決めている	49.3%	23.1%	87.3%	12.7%
33 きまりやルール、マナーを守って情報機器(スマートフォンやタブレット)やSNSを使用している	87.3%	12.7%	100.0%	0.0%

ここでは、保護者の回答ではどの項目も横ばいの結果となりましたが、自己有用感について否定的回答が増えていることが目につきます。前期にひきつづき「笑顔さん SUN プロジェクト」で気持ちの良い挨拶から続けていきます。一方、生徒の後半の回答は全てが肯定的回答でした。やりがいや自己有用感につながる大切な項目と考えています。

この項目ではほぼ横ばいの結果となっていました。衛生面に関する指導では長引くコロナ禍により、衛

生に関する事柄が日常的になり、とりたてて行なう機会を少なく感じているのかもしれません。衛生面に関する指導は大切な事柄です。今後、落ち着いても大切に扱うべきことだと考えています。

この項目では、情報機器やSNSの使い方について、教職員や保護者では否定的回答が多く、生徒では肯定的結果が高く出るという乖離がありました。今後も、適切な使い方や周りの人たちが気分を害しない使い方など、便利な情報機器と上手く付き合う方法を学んでいきます。

分析では紙面の都合上、主だった結果のデータのみを掲載しています。

このあとのページでは、全てのデータと学年別データを掲載しています。

令和4年度 京都市立白河総合支援学校 学校評価アンケート(後期) 集計結果一覧(1/3)

教職員

肯定的回答(そう思う、あまりそう思わない)の回答が90パーセント以上の項目

否定的回答(あまりそう思わない、そう思わない)の回答が前期より10パーセント以上上がった項目

44/44

企業との連携・地域との協働

自己肯定感・自己有用感に関すること

いじめ防止に向けての項目

教職員	比較				後期適合度			
	前期 肯定的回答	前期 否定的回答	後期 肯定的回答	後期 否定的回答	そう思う	大体そう思う	あまりそう思 わない	そう思わない
確かな学力	1 生徒や保護者に短期目標と評価、実習の目標と評価を伝えている	94.4%	5.6%	92.3%	7.7%	46.2%	46.2%	7.7% 0.0%
	2 生徒は自己目標に向かって学習に取り組んでいる	91.7%	8.3%	92.3%	7.7%	7.7%	84.6%	7.7% 0.0%
	3 生徒は満足感や達成感を持ち、専門科(地域協働)の学習に取り組んでいる	88.9%	11.1%	92.3%	7.7%	7.7%	84.6%	7.7% 0.0%
	4 生徒は満足感や達成感を持ち、教科の学習に取り組んでいる	86.1%	13.9%	61.5%	38.5%	7.7%	53.8%	38.5% 0.0%
	5 生徒は満足感や達成感を持ち、職場等実習に取り組んでいる	97.2%	2.8%	92.3%	7.7%	23.1%	69.2%	7.7% 0.0%
	6 生徒に働く意欲や働くために必要な姿勢や態度が育ってきている	91.4%	8.6%	81.0%	19.0%	38.1%	42.9%	19.0% 0.0%
	7 生徒が一生懸命に取り組める活動を用意している	97.2%	2.8%	90.5%	9.5%	47.6%	42.9%	9.5% 0.0%
	8 個別の包括支援プランに基づいて計画的な指導や支援を行なっている	91.7%	8.3%	85.7%	14.3%	28.6%	57.1%	14.3% 0.0%
	9 生徒の学習の結果や努力・達成度を評価し、授業改善・指導法の改善に活かしている	97.2%	2.8%	92.3%	7.7%	15.4%	76.9%	7.7% 0.0%
豊かな心	10 生徒の良いところを伸ばすことを意識して指導している	97.2%	2.8%	95.2%	4.8%	57.1%	38.1%	4.8% 0.0%
	11 生徒の得意なところを把握している	94.4%	5.6%	95.2%	4.8%	38.1%	57.1%	4.8% 0.0%
	12 子どもの自己有用感が高まっている	88.9%	11.1%	76.2%	23.8%	28.6%	47.6%	23.8% 0.0%
	13 生徒の「役に立ちたい」という思いを促すような活動を用意している	91.7%	8.3%	85.7%	14.3%	33.3%	52.4%	14.3% 0.0%
	14 生徒の自己肯定感を高めることを意識して指導に当たっている	97.2%	2.8%	92.3%	7.7%	30.8%	61.5%	7.7% 0.0%
	15 生徒の人権を尊重した言葉かけや指導・支援を行なっている	94.4%	5.6%	92.3%	7.7%	46.2%	46.2%	7.7% 0.0%
	16 生徒との事前・事後学習等や保護者との懇談会等での相談などに適切に対応している	91.7%	8.3%	91.7%	8.3%	33.3%	58.3%	8.3% 0.0%
	17 生徒は友達や仲間を大切にし、お互い認め合いながら、協力し合っている	88.9%	11.1%	84.6%	15.4%	7.7%	76.9%	15.4% 0.0%
	18 生徒に自分から積極的に挨拶するよう指導や支援をしている	94.4%	5.6%	66.7%	33.3%	16.7%	50.0%	33.3% 0.0%
健やかな体	19 生徒に学校のきまりや約束を守って学校生活を送るよう指導や支援をしている	91.7%	8.3%	84.6%	15.4%	23.1%	61.5%	15.4% 0.0%
	20 生徒に家庭内で決まった役割を担うように促している	88.9%	11.1%	61.5%	38.5%	0.0%	61.5%	30.8% 7.7%
	21 全教職員が学校いじめの防止等基本方針の内容を理解し、組織的対応に努めている	91.7%	8.3%	76.9%	23.1%	38.5%	38.5%	15.4% 7.7%
	22 学校のいじめ不登校対策委員会のメンバーを生徒に紹介している	57.1%	42.9%	30.8%	69.2%	7.7%	23.1%	53.8% 15.4%
	23 生徒・保護者の訴え(アンケート結果含む)や相談内容を共有している	88.9%	11.1%	85.7%	14.3%	33.3%	52.4%	14.3% 0.0%
	24 保護者や学校運営協議会等に、学校のいじめの防止等基本方針や学校の取組を説明・周知している	83.3%	16.7%	66.7%	33.3%	4.8%	61.9%	33.3% 0.0%
	25 生徒に適切な食生活を送るように指導している	94.4%	5.6%	84.6%	15.4%	23.1%	61.5%	15.4% 0.0%
	26 生徒に衛生に関する指導や支援を行なっている	97.2%	2.8%	76.9%	23.1%	38.5%	38.5%	23.1% 0.0%
	27 休日等に実施されている各種スポーツ、文化的催しに参加するように生徒に促している	88.6%	11.4%	61.5%	38.5%	7.7%	53.8%	23.1% 15.4%
独自の項目	28 企業との連携・協働による学習環境が設定できている	100.0%	0.0%	92.3%	7.7%	46.2%	46.2%	7.7% 0.0%
	29 地域との連携・協働による学習環境が設定できている	94.4%	5.6%	92.3%	7.7%	30.8%	61.5%	7.7% 0.0%
	30 生徒、保護者、地域、企業等に本校の教育の趣旨や目的を理解できるように伝えている	91.7%	8.3%	84.6%	15.4%	23.1%	61.5%	15.4% 0.0%
	31 保護者に参観・懇談・学習会等に積極的に参加するように促している	86.1%	13.9%	76.9%	23.1%	15.4%	61.5%	23.1% 0.0%
服務	32 情報モラルについての指導を積極的に行なっている	86.1%	13.9%	76.9%	23.1%	15.4%	61.5%	23.1% 0.0%
	34 報告・連絡・相談を意識して行い、情報の共有に努めている	88.6%	11.4%	91.7%	8.3%	50.0%	41.7%	8.3% 0.0%
	35 業務や会議の精選を図ることにより、勤務時間の縮減を図っている	74.3%	25.7%	75.0%	25.0%	16.7%	58.3%	25.0% 0.0%
	36 職務の効率的な遂行を心掛けている	94.3%	5.7%	91.7%	8.3%	33.3%	58.3%	8.3% 0.0%

令和4年度 京都市立白河総合支援学校 学校評価アンケート(後期) 集計結果一覧(2/3)

保護者

肯定的回答(そう思う、あまりそう思わない)の回答が90パーセント以上の項目

否定的回答(あまりそう思わない、そう思わない)の回答が前期より10パーセント以上上がった項目

1年 2年 3年
30/36 36/36 28/39

		適合度							
保護者	項目内容	前期		後期		肯定的回答		否定的回答	
		肯定的回答	否定的回答	肯定的回答	否定的回答	1年	2年	3年	1年
1	短期目標や評価について、学校は保護者に適切に伝えている	90.6%	9.4%	98.3%	1.7%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
2	子どもは目標に向かって学習に取り組んでいる	90.6%	9.4%	83.3%	16.7%	90.9%	86.4%	83.3%	9.1%
3	子どもは専門科(地域協働)の授業に満足感や達成感を感じている	88.2%	11.8%	90.0%	10.0%	100.0%	86.4%	90.0%	0.0%
4	子どもは教科の授業に満足感や達成感を感じている	78.8%	21.2%	81.8%	18.2%	100.0%	81.0%	82.8%	0.0%
5	子どもは職場等の実習に満足感や達成感を感じている	88.2%	11.8%	96.4%	3.6%	100.0%	95.2%	96.6%	0.0%
6	子どもに働く意欲や働くために必要な姿勢や態度が育ってきた	88.2%	11.8%	82.5%	17.5%	100.0%	90.9%	83.3%	0.0%
7	子どもには一生懸命になれる活動がある	87.1%	12.9%	78.9%	21.1%	100.0%	81.8%	80.0%	0.0%
8	子どもの目標や学習計画に基づく計画的な指導や支援がされている	89.3%	10.7%	96.5%	3.5%	100.0%	95.5%	96.7%	0.0%
9	子どもの努力や達成度が評価されている	92.9%	7.1%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
10	子どもには良いところがある	96.5%	3.5%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
11	子どもは自分の得意なことに気づいている	76.5%	23.5%	78.2%	21.8%	90.0%	81.0%	79.3%	10.0%
12	子どもの自己有用感(自分はだれかの役に立っているという感覚)が高まっている	83.5%	16.5%	81.1%	18.9%	100.0%	80.0%	82.1%	0.0%
13	子どもには「誰かの役に立っている」と実感できる学習が準備されている	81.0%	19.0%	78.2%	21.8%	100.0%	85.7%	79.3%	0.0%
14	子どもの自己肯定感(自分はかけがえのない大切な存在なのだという感覚)が高まっている	79.8%	20.2%	81.8%	18.2%	100.0%	90.5%	82.8%	0.0%
15	教職員は子供の生活年齢や発達段階に応じた適切な言葉かけや指導をしている	87.1%	12.9%	89.1%	10.9%	100.0%	85.7%	89.7%	0.0%
16	ケース懇談会など、学校は保護者に適切に対応している	95.3%	4.7%	95.9%	4.1%	100.0%	94.4%	96.2%	0.0%
17	子どもは友達や仲間を大切にし、お互い認め合いながら、協力している	90.6%	9.4%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
18	子どもは自分から積極的に挨拶している	81.7%	18.3%	81.8%	18.2%	90.0%	76.2%	82.8%	10.0%
19	子どもは学校のきまりや約束を守って学校生活を送っている	89.0%	11.0%	89.1%	10.9%	100.0%	90.5%	89.7%	0.0%
20	子どもには家庭で決まった役割があり、実行している	81.7%	18.3%	81.8%	18.2%	90.0%	85.7%	82.8%	10.0%
21	子どもは朝ごはんをきちんと食べている	88.2%	11.8%	85.2%	14.8%	90.9%	90.9%	83.3%	9.1%
22	保護者として子どもには日常的に清潔にするよう言葉かけをしている	98.8%	1.2%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
23	子どもは休日にリフレッシュできる活動をしている	85.7%	14.3%	83.6%	16.4%	90.9%	86.4%	83.3%	9.1%
24	企業との連携・協働による学習環境が設定できている	88.2%	11.8%	93.4%	6.6%	100.0%	90.9%	93.3%	0.0%
25	地域との連携・協働による学習環境が設定できている	87.8%	12.2%	89.1%	10.9%	100.0%	90.5%	89.7%	0.0%
26	保護者として、学校の教育の趣旨や目的を理解している	90.1%	9.9%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
27	保護者として、参観・懇談・学習会などに積極的に参加している	58.5%	41.5%	47.3%	52.7%	60.0%	57.1%	48.3%	40.0%
28	情報機器(スマートフォンやタブレット)の使い方のルールを決め、守るように促している	74.4%	25.6%	81.8%	18.2%	80.0%	81.0%	82.8%	20.0%
29	子どもはルールやマナーを守って情報機器やSNSを使用している	91.5%	8.5%	81.8%	18.2%	90.0%	90.5%	82.8%	10.0%

確かに学力

豊かな心

健やかな体

独自の項目

服務

令和4年度 京都市立白河総合支援学校 学校評価アンケート(後期) 集計結果一覧(3/3)

生徒